学校番号	207

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- １年次で学習した絵画・デザイン・立体・鑑賞の応用となるよう深く学習していきます。
- 「表現すること」についてさらに深く考えることを柱として学習します。自分が一人の「表現者」であるという意識を持って、表現をする力を身につけるように取り組んでいきましょう。
- 一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
- 合評を通して完成作品のプレゼンテーションや相互鑑賞をおこないます。言語活動を通して自身の作品について発表する力つけましょう。
- 完成した作品を本校開催の美書展に展示・鑑賞し、個性の違いを認め合い、ものの見方感じ方を広げましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力・人間性】

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	知(a)	知(a)
1学期	モダンテクニック・抽象表現	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・オリエンテーション ・学習内容、評価について ・美術史を通して抽象表現について学ぶ ・モダンテクニック技法を学ぶ ・モダンテクニックを使用した抽象表現の作品制作(６～９回の小作品制作・毎回テーマを設定する) ・合評 ・振り返りシート	a:造形の要素の働きを理解している。 a:絵の具の扱いを理解し、モダンテクニックの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:抽象表現について深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を形成している。 b:主題に応じて表現形式について考え個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り，発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え，見方や感じ方を深めている。 c:主体的に抽象の絵画表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート
2学期	美書展ポスターデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・本校の美術･書道の作品展を紹介するため必要な情報伝達方法は何かを考え、ポスターを制作する。 ・完成したポスターを鑑賞し、 投票する。実際に作成するポスター･案内ハガキに使用する作品を生徒たちで選定する。 ・合評	a:造形の要素の働きを理解している。 a:造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。 b:社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 b:目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的にデザインの表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	プリント 作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート

	紙で作る靴	【立体】【鑑賞】 ・ケント紙で靴を制作する。自分の靴を見本とし、着彩はアクリルガッシュ使用。 ・鑑賞 ・合評	a:造形の要素の働きを理解している。 a:造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:靴の形状を捉え、紙の特質を理解し、立体的に表現するための工夫をしている。 a:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 b:作業工程を理解し、想像しながら見通しを持って制作している。 c:主体的に立体表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート
3学期	油彩・自由制作	【絵画】【鑑賞】 ・主題を自分で設定し、油絵を制作する。 ・絵画における「表現とは何か」を探求する。 ・計画表と振り返りシートにより自ら毎回の授業を振り返り、今後の見通しを立て、制作を計画的に行う。 ・合評	a:造形の要素の働きを理解している。 a:造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 a:主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。 b:油彩の表現形式について考え個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 b:油彩の造形的なよさや美しさを感じ取り，発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え，見方や感じ方を深めている。 c:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、主体的に絵画表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	作品	作品	制作の様子 作品 鑑賞・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度